

2025 年度 JNA提供 オンデマンド研修
「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」の開催について

時下 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素から本協会の教育事業推進につきましては、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度標記研修を下記のとおり実施いたしますので、業務ご多用のところ恐縮に存じますが、貴所属看護職への周知および応募方法についてご配慮くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 **令和 7 年 9 月 5 日(金)、6 日(土)** **9:30～16:30 受付:8:45～**
(**9:20 より会場オリエンテーション実施予定**)
 2. 場 所 山口県看護研修会館 (防府市)
 3. 研 修 名 「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」
 ※ 講義と演習があります。(別紙 1 研修プログラム 参照)
 4. 定 員 **50 名** (応募者多数の場合は人数調整あり。参照「8. 受講決定について」)
 5. 受講対象 看護師 (「認知症ケア加算」の施設基準に準ずる)
 6. 受講料等 1) 受 講 料 **日本看護協会会員: 6,000 円 非会員: 18,000 (2 日間分)**
 2) 納入方法 **マナブル上での受講「承認」の通知後、事前振込**
 ※R7 年度より実施主体の変更に伴い、受講料が変更になっております。(実施主体:日本看護協会 ⇒ 都道府県看護協会に変更)
 7. 申込方法 1) 申込方法 **研修システム「マナブル」から、「施設単位」で お申込下さい。**
 2) 申込期間 **令和 7 年 7 月 1 日(火)～7 月 22 日(火) 23:59 必着**
 8. 受講決定通知 (マナブル上で通知します)
 1) **受講の可否は、「マナブル」上でご確認下さい。「承認」＝受講可。(5 月初めに通知予定)**
 (マナブル登録の「施設代表者様宛」と「ご本人宛」にメールも送付予定)
- 注) 応募者多数の場合は、締め切り後に、申込書の優先順位を基に受講者を決定させていただきますので、
複数名お申し込みの際は、必ず優先順位のご入力をお願いします。
受講「承認」の可否や「支払い」等の各通知については、必ずマナブル上でご確認をお願いします。
9. 修了証の発行について
 修了証発行基準 研修プログラムに記載されている全ての講義・演習に出席していること

本研修は、「認知症ケア加算2. 3」の施設基準における「認知症患者のアセスメントや看護方法等に係る適切な研修」に該当する研修として認められており、演習を含め、全研修時間の受講が修了証発行の条件になっています。

10. その他 研修運営について

本協会の感染拡大防止対策に沿って運営してまいります。 別紙参照

令和7年4月1日

来館者各位

山口県看護研修会館内における新型コロナウイルス感染症の
拡大防止対策の変更について

山口県看護協会では、山口県看護研修会館への来館者に対してこれまで新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、「来館前の健康チェックや不織布マスクの着用」について、必ず実施いただくようご協力を求めてまいりました。

このたび感染状況等を鑑み、今後の対応としましては、「来館前の健康チェックや不織布マスクの着用」を義務とはせず、医療従事者としての個人の判断に任せることとします。ただし、山口県感染症情報システムの感染症流行状況において、インフルエンザ及び COVID-19 の県全体定点あたりの報告数が、基準値以上の場合はマスク着用をお願いします。

健康状態に不安のある方は、来館をお控えいただきますようよろしくお願いします。

なお、今後、新型コロナウイルス感染症を含め各感染症のまん延状況によっては、変更があり得ることを申し添えます。

よろしくお願いいたします。

■「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」（1日目）

【到達目標】 1.認知症高齢者における国の施策や医療の現状を理解することができる。

2.入院中の認知症高齢者を適切にケアするための基本的な知識を理解することができる。

【特記事項】本研修は、認知症ケア加算2および3の施設基準における「認知症患者のアセスメントや看護方法等に係る適切な研修」に該当します。また厚生労働省より令和6年度病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修に認定されています。

時間	科目名	講師
9:30～10:15	●認知症に関連する疾患と病態・治療① 認知症の医療の現状と課題 認知症高齢者に関する政策の動向	小川 朝生 (国立がん研究センター 東病院)
10:15～10:20	休憩	
10:20～11:20	●認知症に関連する疾患と病態・治療② 認知症とは、認知症の原因疾患と病態・治療(最新の知見を含む) 入院が認知症に及ぼす影響 認知症高齢者がよりよい入院治療を受けるために医療者にできること	
11:20～11:25	休憩	
11:25～12:10	●組織で取り組む認知症高齢者ケア 認知症患者のアセスメントのためのツールの活用 -「医療者のための認知症対応シート」- 認知症ケア加算の概要 認知症ケア加算を活用した認知症高齢者ケアの組織的な取り組みと評価	田中 久美 (筑波メディカルセンター 病院)
12:10～13:00	昼休憩	
13:00～13:55	●認知症高齢者の看護に必要なアセスメント 認知症とともに生きる高齢者の体験世界 認知症高齢者に特有なアセスメントの視点(健康障害、 認知症の重症度、生活障害、行動・心理症状(BPSD)など) アセスメントに有用な情報と情報収集の方法 演習2-① ●認知症高齢者の看護に必要なアセスメント	花房 由美子 (神戸市立医療センター 中央市民病院) 演習:研修支援者 認知症看護認定看護師
13:55～14:00	休憩	
14:00～15:00	●認知症高齢者の看護に必要なコミュニケーションと援助技術 認知症高齢者の反応に合わせたコミュニケーション 生活障害への援助の工夫と技術 BPSDの捉え方と対応方法 せん妄発症予防と早期改善へのケア	
15:00～15:05	休憩	
15:05～15:50	演習2-② (事例で考えるコミュニケーションと援助技術) ●質疑 応答	研修支援者 認知症看護認定看護師
15:50～16:00	まとめ	研修支援者 認知症看護認定看護師

■「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」（2日目）

時間	科目名	講師
9:30～10:00	●認知症高齢者ケアにおける多職種・看看連携のあり方 院内・院外での多職種・看看連携の意義 院内・院外での多職種で行うカンファレンスの目的と方法 カンファレンスの効果的な活用	鶴屋 邦江 （医療法人実風会 新生病院）
10:00～10:30	●多職種・看看連携による認知症高齢者ケアの進め方 入院前の生活像を活用した回復を促す看護と退院支援	
10:30～10:35	休憩	
10:35～11:20	●認知症高齢者に適した療養環境と調整方法 ケアとしての療養環境の調整 入院中の危険回避と安全確保の考え方 身体拘束を当たり前としないケアへのチームアプローチ	
11:20～11:30	休憩	
11:30～12:20	【演習1】 ●認知症高齢者に適した療養環境と調整方法 自部署での取組み等意見交換 事例で考える身体拘束解除に必要なアプローチ ●質疑 応答	研修支援者 認知症看護認定看護師
12:20～13:10	昼休憩	
13:10～14:00	●認知症高齢者に特有な倫理的課題 認知症高齢者ケアで起こりやすい倫理的課題とその背景 認知症高齢者の尊厳を守り高める看護実践のあり方 事例で学ぶ認知症高齢者の尊厳を守り高める看護 演習3-①●認知症高齢者に特有な倫理的課題・意思決定支援 演習3-②●認知症高齢者ケアでの倫理的課題に関する意見交換	高梨 早苗 （神戸女子大学大学院看護学研究科博士後期課程）
14:00～14:05	休憩	
14:05～14:50	【講義】 ●認知症高齢者の意思決定支援 認知症高齢者の意思決定支援の考え方 意思決定プロセスにおける家族と家族への支援 本人の意思と本人にとっての最善を探求する方法	
14:50～15:00	休憩	
15:00～15:50	【演習3】 ●認知症高齢者の意思決定支援に関する事例検討 質疑 応答	研修支援者 認知症看護認定看護師
15:50～16:00	まとめ	研修支援者 認知症看護認定看護師

※研修時間は多少変更になる場合もある旨ご了承下さい。